

いま、キャンペーンを呼びかける理由



海は売っちゃらん！

瀬戸内海の祝島。島民の9割が人生を賭け世代を超えて、上関の原発計画に反対してきました。漁師さんにいっては、原発建設の漁業補償金10億8千万円も拒みつづけています。この明確な意思表示が原発計画を止める切り札でした。



祝島支店の2013年度の赤字は約1,000万円。

年々、水揚げが減り魚価も低迷。補償金受けとりを強要する県漁協の管理下で、山口県漁協祝島支店（旧祝島漁協）は、運営改革も進めることができず、深刻な経営危機に直面しています。補償金を拒むためにも、漁師さんは年金をつぎこみながら組合員を続け、数年前からはさらに赤字補填もしています。議決権のある正組合員の、少なくとも過半数の意思表示がなければ、補償金を拒みとおすことが難しいからです。今年はずいに、赤字負担が1人約20万円。支払い期限は7月末です。祝島の漁師さんだけで背負うのは、もう限界です。



みんなの海を私も守る。

補償金を拒む組合員の負担分500万円がカンパ目標額です。ひとりでも多くの漁師さんが補償金を拒めば、漁協の運営改革の議論が本格化します。海の日7月21日、祝島の漁師さんへ届けましょう。



「みんなの海の会」さんが祝島を応援する
ためのカンパの呼びかけを始めると伺い、
とても励まされると同時にありがたいです。
ともに「いのちの海」を守り受け継ぐ
ために、力をあわせて頑張りましょう。
上関原発を建てさせない祝島島民の会代表
清水敏保

キャンペーンの詳細情報、経過と会計報告はホームページに掲載します。

<http://minnanoumi.jimdo.com>

【みんなの海の会】これまで祝島に学び、お世話になり、勇気づけられてきた発起人3人が、祝島のこの1年の危機的状況に、ひとりでも多くの方と問題を共有したいと立ち上げた会です。